

# 命どっ宝(命こそ宝)！新基地建設反対！ 青年部から声をあげ、戦争のない平和な日本を築いていく！



5月10日～14日、JR総連青年協議会主催「5・15沖縄平和行進2018」にJR東労組青年部の『平和政策実現プロジェクト沖縄』のメンバー15名（JR総連青年協議会総勢35名）が参加しました。

私たちは、南部戦跡コース44・2kmを仲間と共に全員が完歩しました。そこは78年前の沖縄戦で住民が「生きるため、命を守るべく逃げ惑った」場所です。現在は舗装され歩きやすい道になっていますが、「新基地建設反対！」「9条守ろう！」「命どっ宝とシユプレヒコールをあげながら、当時の住民の思いに馳せ、仲間と共に完歩しました。平和行進を締めくくる「復帰46年 5・15平和とくらしを守る県民大会」には、国内外から3500名（主催者発表）が集まりました。「基地のない沖縄」を実現するため「戦争への道を許さない」ためにたたかい抜くことを誓う県民大会でした。



沖縄県は日本国土の0・6%しかないにも関わらず、在日米軍関連施設の74%が集中しています。日本は1952年サンフランシスコ講和条約への署名により連合軍による占領から解放されましたが、沖縄県は1972年までアメリカの統治下へ置かれていました。日本に復帰して46年が経過しましたが、オスプレイの墜落、軍用ヘリコプターの墜落・部品落下、民間航空機の飛行高度の制限、軍用機による騒音、交通網の整備など多くの問題が沖縄に偏っています。そして何よりも住民の命が脅かされたり犠牲になるために、青年部から声をあげ、平和を希求し続けることで戦争のない平和な日本と世界を築いていきます。

## 第33回定期委員会までのたたかい

### 【スローガン】

「仲間に手を差し伸べられる組織」の確立をめざそう！

### 【具体的運動課題】

- I. 第35回臨時大会の経過と方針を全青年部員と共有する取り組み
- II. 仲間の大切さ、労働組合の必要性を感じてもらう取り組み
- III. JR東労組運動の「再生」に向けて

## 第47回全支部青年部長会議

### 仲間との対話でJR東労組運動をさらに強化していこう！



5月8日、本部会議室にて第47回全支部青年部長会議を開催し、春のたたかひの総括と第33回定期委員会までのたたかひの意思統一をおこないました。春のたたかひでは、「格差ベア根絶総行動」で対話に拘り、青年部員に向き合い賃金・格差ベアの本質を自らの言葉で語ってきた実践が出されました。「何も知らない青年部員をつくらぬ為に対話をしてきた」「誰がいつ何をするのかスケッチを明確にし、支部の一体感をつくりだせた」など教訓的な発言がありました。また、「多くの職場で議論ができた」と「自らの言葉で対話できるようになった」など実践を通じて組織強化されていることを確認しました。

第33回定期委員会までのたたかひでは、18春闘をめぐる取組みで多くの脱退者を生み出してしまった現実を受け止め、青年部員の声から出発し、再スタートをきる決意が固められました。

対話を通じて、青年部員の「声」から出発した納得・共感できる運動を創り出すこと、仲間の大切さ、労働組合の必要性を再度感じてもらおう取り組みを創り出し、第33回定期委員会まで仲間と共に前進していきます。

## 中央執行部員の指定について

5月8日の第16回中央執行委員会で、新たに4名の中央執行部員を指定しました。よろしくお願ひします。

- 組織担当部長 銭谷 公太(盛岡地本)
- 組織担当部長 菅原 亮晃(仙台地本)
- 業務担当部長 高橋 孝一(大宮地本)
- 組織担当部長 佐藤 英樹(横浜地本)

